

《人を知ること》②

子どもを深く知るために

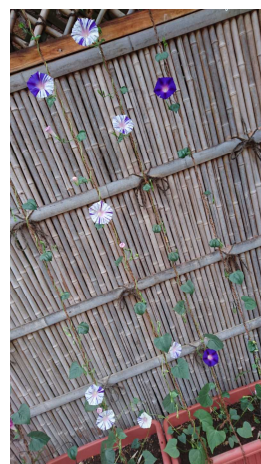
H29. 7. 13 坂井



私たちは、その子についての理解を深めようと、たくさんの情報を集めます。授業中（発言やノート）や生活の様子などにも目を向けます。家庭訪問では、保護者の皆様とも懇談して、家庭での過ごし方等についてもお聞かせいただくことがあります。家で弟や妹の世話を頑張っている話など、学校での様子と異なる一面を知ることはいずれのことです。一方、保護者の皆様にとっても、担任の話や学校での様子から、お子さんについて別の面があることに気付かれることもあるでしょう。先週土曜日の一日学習参観日にお越しの方々は、どのような感想をお持ちでしょうか。（次のページに、当日のスナップを少し付けておきます。）

さて、子どもについていろいろな情報が集まれば、その子のことがすべて分かるのでしょうか。前は「ジョハリの窓」で、子ども（人）には、他の人には分からない世界（「秘密の窓」と「未知の窓」）があることを紹介しました。確かに、受け持って数カ月経ったころにその子の意外な面に触れることがあります。教員になり立てのころ、ある先輩から、次のような話を聞いたことがあります。その子について、「おやっ」と思うことや「やっぱり」と思うことがあったら、メモをしておきなさい。週に一つでいいのです。2, 3カ月経ったころにそのメモを読み返してみると、その子に対する理解が深まりますよ、という話です。また、その先輩は、放課後になると子どもが帰宅した後の教室で、子どもたちの席を見ながら一人一人のその日の様子を思い出すことをしていました。その先輩が話していた、「子どもを理解するとは、その子のことを考えることだね」という言葉が改めて思い出されます。子どもに関わる情報を得るだけではなく、その子のことを「思う」「考える」ことが大切であることを教えてもらいました。

来年度から、道徳が「特別の教科 道徳」となります。「特別の」は付いていますが、教科として扱われますから、教科書も準備され、子どもたちの学習について評価することも始まります。数値による評価は行わず、一人一人の学習状況を文章によって保護者の皆様にお伝えすることになるようです。教科としての道徳を子どもたちにどう教え、子どもたちの学習の様子をどのように把握し評価していけばいいのか……。子どもたちのことを深く知ることと重ね合わせて、職員は今後研修をつんでいきます。今回の「響風」では、「じんけん」（道徳）の学習と職員研修のことをとりあげてみたいと思います。



「江戸朝顔」といった苗を入手し、我が家で育ててみました。突然変異で生まれたとか。

## 《一日学習参観日》 ご来校、ありがとうございました

先週土曜日は、一日学習参観日でした。給食や清掃の時間を含め、日ごろは目にすることがあまりない、様々な場所でのお子さんの様子をご覧いただくことができたことと思います。



プールで



音楽室で



家庭科室で



多目的ルームで



第2図書室で



体育館で